








# 106号隊舎自動火災報知受信機取替

業務隊長	管理科長	営繕班長	営繕主任	工事企画	電気係	担当者
						
件名	106号隊舎自動火災報知受信機取替					
図面名	表紙					
縮尺				作成年月日	令和7年10月9日	
作成者	防衛技官			真浦 直樹		図面番号
						1 / 2

# 仕 様 書

## 1 件 名

106号隊舎自動火災報知受信機取替

## 2 場 所

長崎県佐世保市大湊町678番地 陸上自衛隊 相浦駐屯地

## 3 概 要

106号隊舎の自動火災報知受信機本体を取替するもの。

## 4 一般事項

- (1) 本作業は本仕様書に基づき実施するものとする。
- (2) 作業に際して事前に監督官と打ち合わせをするものとする。
- (3) 本作業の写真は、作業前、作業中、作業後、主要な作業進捗及び監督官の指示する箇所を撮影するとともに、作業後隠蔽となる部分は確実に写真管理を実施し、作業完了後、A4判工事写真帳に整理し監督官に提出するものとする。
- (4) 本仕様書等に記載なき事項といえども技術上当然実施すべき事項については、受注者の負担において実施するものとする。
- (5) 作業は他の施設に損傷を与えないように十分注意して実施し、損傷を与えた場合は受注者の負担において現状復旧するものとする。
- (6) 本仕様書及び作業に際し疑義を生じた場合は、監督官と協議し軽微なものについては、受注者の負担において処置するものとする。
- (7) 本作業にあたっては、火災予防、安全管理に十分留意するものとする。
- (8) 作業等に必要電力及び給水は、官給しないものとし、電気は発電機、給水は水タンクの搬入を基本とする。ただし、前記要領で使用できない場合は官側と調整し、メーター等を取付け、使用量に応じた料金の支払いにより使用できるものとする。
- (9) 本役務により生じた発生材（金属屑類）は、駐屯地指定の発生材調書とともに監督官に引継ぎ、指定場所へ集積すること。また、金属屑類以外の発生材は請負業者の負担において作業現場から搬出し、関係法令等に従い適正に処分すること。

## 5 特記事項

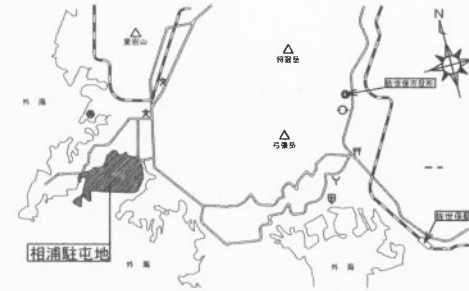
- (1) 機器の交換は、下表のとおりとする。

該当機器名等	内 容	規 格 等	単 位	数 量	備 考
火災警報知受信機 能美防災（株）製	P型1級複合火災受信機 蓄積、露出、壁掛形	FCSJ106N-B1- 10~40L/LT/LM型	台	1	

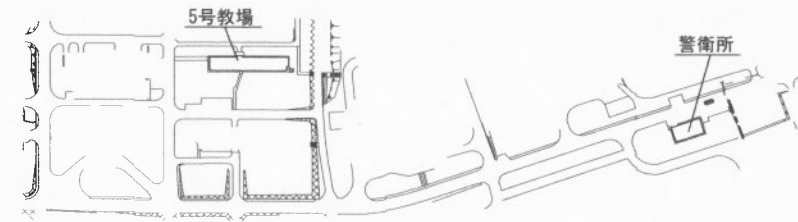
- (2) 関係法令に基づき機器を交換し、消防署の検査を受けるものとする。
- (3) 本機器は感知器との互換性の観点より同等品不可とすることとする。

## 6 検査

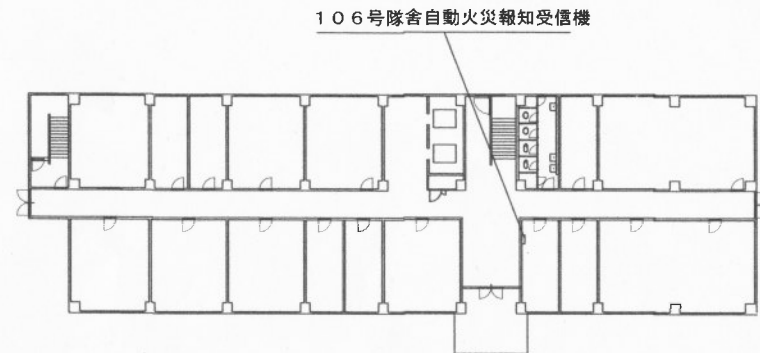
作業完了後、必要書類の提出（2部）及び検査官による検査をもって、検査合格とする。



相浦駐屯地案内図 S=1/X



配置図 S=1/X



平面図 S=1/X

件 名	106号隊舎自動火災報知受信機取替		
図 面 名	仕様書・案内図・配置図・平面図		
縮 尺	作成年月日	令和7年10月9日	
作 成 者	防衛技官 眞浦 直樹	図面番号	2 / 2